

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所

平成 19 年度病害虫発生予察 防除情報第 13 号

施設野菜（果菜類） タバココナジラミ

きゅうり、トマトなどの施設野菜（果菜類）において、タバココナジラミ類の発生が多くなっています。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 11月上旬の巡回調査におけるコナジラミ類の調査では、きゅうりでの寄生葉率は17.6%（平年1.9%）、発生圃場率は100%（平年39.6%）、トマトでの寄生株率は5.4%（平年1.0%）、発生圃場率は75%（平年20.9%）と多い発生であった(図)。

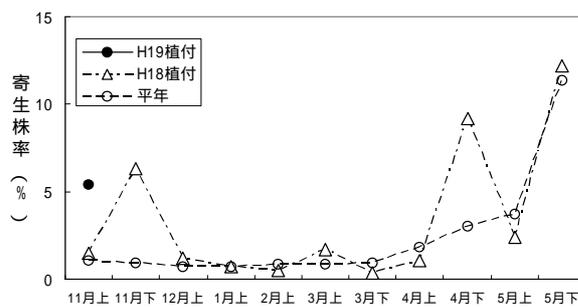


図 トマト コナジラミ類寄生株率の推移

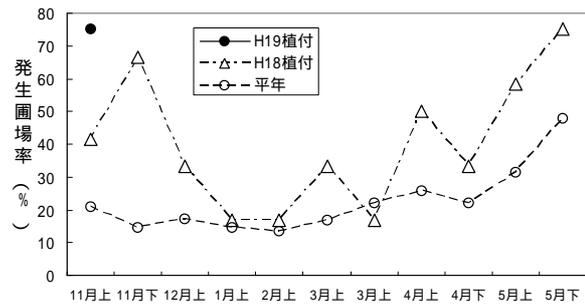


図 トマト コナジラミ類発生圃場率の推移

- (2) 11月上旬の調査では、メロン、ナスにおいて本虫の多発圃場が認められた。

2. 防除対策

- (1) 本虫は強い薬剤抵抗性を持ち薬剤防除の効果が上がりにくいので、薬剤防除にあたっては表1を参考に選定する。また、昆虫病原性糸状菌製剤や気門封鎖剤（注1）の使用も検討する。
- (2) 作物の生育が進み茎葉が繁茂すると薬剤防除がさらに困難になるので、生育初期に防除を徹底する。
- (3) 本虫はTYLCVを媒介するので、トマトおよびミニトマトでは黄色粘着板等で発生状況を把握し、防除に努める。
- (4) 本虫はウリ類黄化症の発生への関与が疑われているので、きゅうりおよびメロンでは特に注意する。
- (5) 薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。
- (6) マルハナバチを使用するハウスでは、影響の少ない薬剤を使用する。

注1) 昆虫病原性糸状菌製剤にはマイコトールやプリファード水和剤などが、気門封鎖剤にはオレート液剤や粘着くん液剤などがあるが、それぞれ登録内容や使用上の注意事項が異なるので、確認の上使用する。

表1 室内での薬剤感受性検定で効果がある薬剤の「平成19年度病害虫防除基準」への記載状況

薬 剤 名	薬剤の効果		きゅうり	トマト	ミニトマト	メロン	なす
	幼虫	成虫					
ベストガード水溶剤							
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤							
バリアード顆粒水和剤							
サンマイトフロアブル							
ダニトロンフロアブル		×		×	×		
アフーム乳剤							
ハチハチ乳剤		×				×	
コロマイト乳剤		×					
アブロードエースフロアブル		×			×	×	
モレスタン水和剤		×			×		

- : 記載あり（対象害虫：外コナジラミ類）
- : 記載あり（対象害虫：他の病害虫）
- : 記載なし、H19年11月16日現在、コナジラミ類又は他の害虫に登録あり
- ×：H19年11月16日現在、作物登録なし

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制）
 アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jpnn.ne.jp